

# 新しん 緑みどり ニュース



病院の理念

確かな医療技術  
やさしい対応  
地域への貢献

さんきかい よこはましんみどりそうごうびょういん  
**医療法人社団三喜会 横浜新緑総合病院**  
 〒226-0025 横浜市緑区十日市場町1726-7  
 TEL. 045-984-2400(代表) FAX. 045-983-4271  
 地域医療連携室 TEL. 045-984-6216(直通)

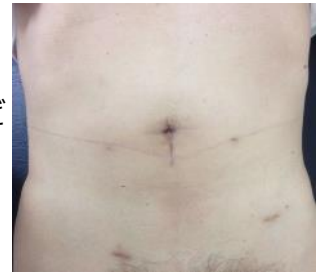


## 消化器センター | 外科・消化器科

私たち外科・消化器科では病状説明に十分な時間をかけ、患者さんに納得していただける治療を心がけています。

地域に密着した一般病院ならではの特性を活かし、患者さんやご家族からの相談や要望を受けながら、患者さんの立場にたった診療・手術を基本としながらも、大学病院やがん専門病院と同等またはそれ以上の治療の質を目指しています。今回、消化器センター 外科・消化器科において力を入れております「腹腔鏡下手術」に関して紹介致します。

現在、当科では鼠径ヘルニア、急性虫垂炎、胆嚢結石症などの良性疾患だけでなく、大腸がんなどの悪性疾患に対しても「腹腔鏡下手術」を積極的に取り入れており、本年4月から9月までの6ヶ月間に100件以上の腹腔鏡下手術を行いました。



腹腔鏡下での直腸癌の手術後の術創

(当院ホームページに記載しております)

齊藤外科部長は、腹腔鏡下手術を指導するに足る技量を有していることを日本内視鏡外科学会が認定している「技術認定医」を10年前に取得しており、日本臨床腫瘍研究グループ(JCOG)で行われた「進行大腸がんに対する腹腔鏡下手術と開腹手術を比較したランダム化試験(JCOG0404)」には研究者の一人として参加しました。

この研究の結果、腹腔鏡下手術では開腹手術より術後合併症が少ないことが示され、本年1月にサンフランシスコで開催された「米国臨床腫瘍学会 消化器癌シンポジウム」(ASCO-GI2015)での発表に共同演者の一人に名前を連ね、進行大腸がんに対する腹腔鏡下手術は開腹手術とほぼ同様の生存率であり、選択肢の一つであることを示しました。

以上のような経験と臨床試験の結果から、当科では大腸がんに対しては進行がんに対しても積極的に腹腔鏡下手術を行っております。

### <腹腔鏡下手術 ふくくうきょうかしゅじゅつ>

お腹の中(腹腔 ふくくう)をみるカメラを「腹腔鏡 ふくくうきょう」といいます。腹腔鏡下手術とは、お腹の中に二酸化炭素ガスを注入し、おへそから「腹腔鏡」というカメラをお腹の中に入れ、テレビモニターに映ったお腹の中の画像を見ながら行う手術です。

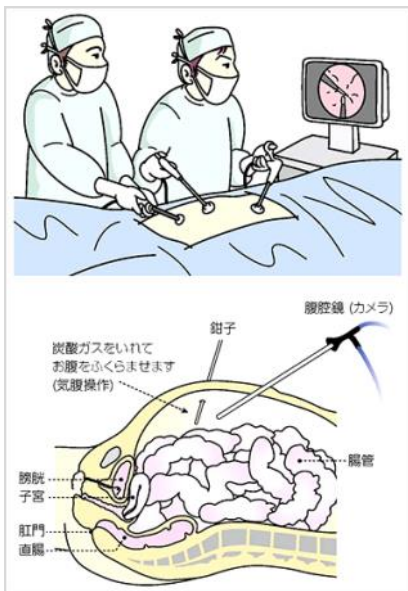


イラスト  
「患者さんのための大腸癌治療ガイドライン 大腸癌研究会編」より



## 画像診断センター | 最新鋭 64列マルチスライスCTを導入 心臓CT・大腸CT開始

当院では最新の64列マルチスライスCT(GE社製 Revolution EVO)を導入いたしました。

本装置は、1回転最速0.35秒で0.625mmという薄さの断面像を64枚収集することができ、広範囲の検査部位を高速でスキャンすることができます。従来の装置に比べ高画質なうえ、息止めや静止時間の短縮、放射線被ばくの低減が可能で、検査時における患者様の負担が少なくなり、安心して検査を受けていただけます。また、高速スキャンが可能になったことと最新の画像処理技術により心臓CTと大腸CT検査もできるようになりました。





## 部門紹介 2015 | 内視鏡センター 《カプセル内視鏡検査導入に向け準備を進めています》

当院 内視鏡センターでは、年間約7500件の胃カメラ、約2300件の大腸カメラを行っております。

胃カメラでは、患者様の苦痛を和らげるための鎮静剤の使用だけでなく、オエツくる咽頭反射を軽減できる経鼻内視鏡を積極的に取り入れ、患者様のご好評を得ております。

鎮静剤を使用された方は、院内での休憩の後、帰宅をしていただいておりますが、経鼻内視鏡は鎮静剤を使用しないため、休憩をせず帰宅することが可能です。

一般的な内視鏡検査だけではなく、超音波内視鏡や拡大内視鏡による精密内視鏡検査、ポリープ切除や早期がんに対するESD（内視鏡下粘膜剥離術）、胆嚢・膵臓領域の検査・治療など内視鏡を用いたあらゆる検査・治療が可能となっており、現在カプセル内視鏡検査導入に向け準備を進めております。

消化器内科医・消化器外科医をはじめ、看護師、臨床工学技士、看護助手、事務スタッフでチームを組み診断・治療にあたっています。

内視鏡検査は原則的に予約検査となっております。消化器センター外来を受診の上、ご予約をお願い致します。



## 当院で救急症例勉強会を開催 テーマは「急性腹症」

11月2日、9日に当院で救急症例勉強会を開催し、42名の救急隊の方が参加されました。この勉強会は年2回開催しており、今回は大塚亮外科副部長が講師となり、「急性腹症」がテーマでした。

腹痛の知識やトリアージに必要な情報について当院への搬送症例を交えた内容で、医師と救急隊員が腹痛患者の救急搬送に関して共通認識するよい機会となりました。



救急症例勉強会



また、当院では本年9月より、緑消防署の協力のもと看護師の救急車同乗研修を実施しております。救急診療に携わる看護師が救急隊の活動を理解することで、スムーズな救急車の受入れを行っていただけるようにすることが目的です。このように、当院では積極的に救急隊と顔の見える関係を作り、円滑な救急医療連携を目指した取り組みを行っております。

当院看護師（右）の救急車同乗研修



## 年 末 年 始 の お 知 ら せ

◇ 年末年始も2次救急病院として、  
内科・外科・脳神経外科の救急診療を行っております。

◇ 急病の際は病院にご連絡の上、ご来院ください。

TEL 045-984-2400 (代表)

12月28日 (月) 29日 (火)	通常診療
<b>12月30日 (水) ~ 1月3日 (日) 休診</b>	
1月4日 (月) より	通常診療

平成28年 みんなの健康講座

主催：横浜新緑総合病院

※参加費無料

平成28年1月16日 (土) シリーズ糖尿病 「大丈夫？ お薬の飲み方、使い方を確認しましょう！」

講師 横浜新緑総合病院 薬剤部 薬剤師 森 恵 ※12月の健康講座はお休みです。



会場 十日市場地区センター 2階中会議室 (十日市場駅より徒歩5分) 時間 午後1時30分~2時30分

お問合せ 地域医療連携室 045-984-6216 (直通) 045-984-2400 (代表)

平成28年2月20日 (土) 講師 横浜新緑総合病院 消化器センター長 齊藤 修治

当院の詳細はホームページをご覧ください

<http://www.shinmidori.com/>